

【令和3年度指標達成状況】

目 標	施策の方向性	通し 番号	施策別 番号	指 標	担当課	年度目標値 (R3年度)	R3実績値 (R3.12月末時点)	特記事項	次年度方向性	懇話会委員コメント	
I 男女共同参画の理解促進	1 男女共同参画に関する情報提供・啓発	1	1	男女共同参画コーナーの設置回数	文化スポーツ課	2回/年	2回/年	男女共同参画に関するパネル展を2回実施した。1回目は10月5日～17日でDV・デートDV防止啓発パネルと関連図書を設置し、関連DVDの上映も行った。2回目は11月12日～25日でワークライフバランスとLGBTについてパネルと関連図書を設置、LGBTの理解を深めるためのDVDを上映した。		・パネル展を見に来ている方がいないように見受けられるので、開催場所や時期の検討が必要だと思う。例えば、県サポーター養成講座前に、やはば1Fホールなどで。	
		2	2	男女共同参画という言葉と意味を知っている人の割合	文化スポーツ課	45.0%	実績なし	パネル展に合わせてアンケートを実施したが、回答を得ることができなかった。	実施方法の見直し	・男女共同参画の啓発運動回数を増やすなど見直してほしい。	
	2 幅広い年代に対する教育と学習の推進	3	1	岩手県男女共同参画サポーターの認定者数【累計】	文化スポーツ課	累計27人	累計25人	令和3年度サポーター養成講座を受講した町民は2名いたが、認定を受けるまでに至らなかった。	単位取得のため次年度も継続して受講を期待するとともに、受講者を増やせるよう周知活動に力を入れる。	・サポーター認定者の懇談会を開催してほしい。	
		4	2	岩手県男女共同参画サポーターの活動支援回数	文化スポーツ課	1回/年	実績なし	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、サポーターを集めた懇談会は実施しなかった。	開催方法の見直し		
		5	3	男女共同参画に関する学習を実施した町立学校の数	学校教育課	6/6校	6/6校	思春期保健教室のほか、社会科や家庭科、道徳科など、教科横断的に学習を行った。			
II 様々な分野における男女の参画拡大	1 意思・方針決定過程への女性の参画拡大	6	1	審議会等委員に占める女性の割合（矢巾町長部局行政組織規則第13条、矢巾町教育委員会行政組織規則第18条）	全庁（集計：文スポ）	29.0%	28.0%				
		7	2	各種委員会や会議等の役員選出におけるクォータ制の導入率	全庁（集計：文スポ）	3.0%	実績なし				
		8	3	町職員管理職に占める女性の割合	総務課	12.0%	12.5%			・町職員管理職の女性が出ないのでは男性職員のサポートがないからだと考える。男性職員のサポート強化を。	
		9	4	行政区長に占める女性の割合	企画財政課	2.0%	0%	R3は行政区長任期の途中で改選期ではないため、指標の向上を図ることは困難な状況である。		・行政区長は近いうちに廃止の方向と聞いているが、女性区長が出ないのはコミュニティの在り方・体制に問題があると思う。	
		10	5	町議会議員に占める女性の割合	議会事務局	27.8%	27.8%	具体的な取組み等、特になし。	女性が議員活動をしやすい環境整備を検討する。	・町議会議員の女性議員が増えないのは、コミュニティなどで役員などのリーダー的役割または人材育成が不足しているからだと思う。	
		11	6	町農業委員に占める女性の割合	農業委員会事務局	12.0%	12.5%	農業委員16名 うち女性農業委員2名			
		12	7	公民館を活動拠点とするサークルのうち女性が代表を務めるサークルの割合	文化スポーツ課	70.0%	84.7%	R3サークル活動調査で回答いただいた72団体のうち女性が代表を務めるのは61団体。			
	2 ワーク・ライフ・バランスの実現	13	1	町職員男性の育児休暇取得率	総務課	2.0%	50%				
		14	2	町職員男性の介護休暇取得率	総務課	2.0%	0%				
		15	3	地域において男女が平等と感じている人の割合	文化スポーツ課	45.0%	実績なし	パネル展に合わせてアンケートを実施したが、回答を得ることができなかった。	実施方法の見直し	・地域における男女平等は非常に困難。原因はコミュニティ役員が男性年配者が多く若者の担い手が出ないまたは女性からの関心がないこと。	
		16	4	家庭において男女が平等と感じている人の割合	文化スポーツ課	58.0%	実績なし	パネル展に合わせてアンケートを実施したが、回答を得ることができなかった。	実施方法の見直し		
		17	5	子ども会育成会連合会主催の親子創作活動のうち父親（祖父を含む）の参加率	文化スポーツ課	10.0%	7.4%	令和3年12月18日（土）に開催。合計参加児童35人、保護者27人参加のうち、祖父1名、父1名であった。開催内容は手芸、木製ブロック、スノードーム、陶芸の4教室。			
	3 多様な働き方の促進に関	18	1	町職員女性のキャリアアップ研修の受講者数	総務課	1人/年	0人/年				
		19	2	離職者を対象とした職業訓練における女性の再就職率	産業観光課	30.0%	37.7%	矢巾町の職業訓練受講者のうち訓練修了者の就職件数。盛岡公共職業安定所からの資料提供による。			

【令和3年度指標達成状況】

目 標	施策の方向性	通し 番号	施策別 番号	指 標	担当課	年度目標値 (R3年度)	R3実績値 (R3.12月末時点)	特記事項	次年度方向性	懇話会委員コメント
	する支援の充実	20	3	家族経営協定の締結数【累計】	産業観光課	累計75件	累計75件	家族内での労働条件（賃金、作業分担、作業時間）を決定する紳士協定。町及び普及センターの立会のもと締結。		
		21	4	職場において男女が平等と感じている人の割合	文化スポーツ課	33.0%	実績なし	パネル展に合わせてアンケートを実施したが、回答を得ることができなかった。	実施方法の見直し	
Ⅲ安心安全な暮らしの実現	1 生活上の困難に対する支援の推進	22	1	生活支援コーディネーターの配置人数	健康長寿課	5人/年	5人/年	1層 健康長寿課（1人）、 2層 4つの法人に委託（4人）		・生活上の困難に対する相談会は随時開催してほしい。また相談の多いテーマについては講習会を開催してほしい。民生委員や自治会長にも案内をお願いします。
		23	2	障がい者の不利益に対応する相談窓口職員研修の受講者数	福祉課	1人/年	実績なし			
	2 子育て・介護支援の拡充	24	1	子育て講習会・赤ちゃん講習会の参加世帯数	子ども課	140世帯/年	148世帯/年	町内3か所の地域子育て支援拠点において、月に1回実施している。		
		25	2	子育てボランティア・子育て助け隊の登録者数【累計】	子ども課	累計19人	累計10人	年2回子育てサポーター研修を開催し、登録者を募集している。R2は新規登録2名。研修受講者が増えず、目標数に到達できなかった。		
		26	3	介護予防教室（出前講座、公民館型、えんじょいセンター）の参加者数【合計】	健康長寿課	延べ600人/年	延べ375人/年			
		27	4	家族介護者教室の参加者数（地域包括支援センター主催）	健康長寿課	15人/年	5人/年	9/19（日）おれんじサンデー（アルツハイマー月間における家族介護教室、認知症について医師の講話、家族と支援者の懇談）		
	3 男女における健康支援	28	1	子宮頸がん検診の受診率	健康長寿課	40.0%	26.1%	子宮頸がん検診受診者：789名 ※R4.3月まで実施予定		・受診率があまりにも少ない。受診率向上方策を考えてほしい。健診結果陽性になった場合の恐怖感から受診しない人がありつおきいたことがあるが、生命に関することなので前向きに受診できるような体制整備に努めてほしい。
		29	2	乳がん検診受診率	健康長寿課	42.0%	29.6%	乳がん検診受診者：743名 ※R4.3月まで実施予定		・受診率があまりにも少ない。受診率向上方策を考えてほしい。健診結果陽性になった場合の恐怖感から受診しない人がありつおきいたことがあるが、生命に関することなので前向きに受診できるような体制整備に努めてほしい。
		30	3	一般及び特定不妊治療費の助成数【合計】	健康長寿課	30件/年	24件/年	一般不妊治療：0件 特定不妊治療：24件		
		31	4	マタニティひろばの参加世帯数	健康長寿課	延べ50組/年	延べ18組/年	1コース：6組 2コース12組		
		32	5	通いの場体操クラブの登録者数【累計】	健康長寿課	累計290人	累計308人			
		33	6	青松学園大会員のうち全講座に出席した会員の割合	文化スポーツ課	20.0%	実績なし	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、全講座中止とした。		
	4 防災における男女共同参画の推進	34	1	女性役員がいる自主防災会の割合	総務課	100.0%	100%	自主防災会ごとに副会長、公民館長、保健推進員、班長等の役員に積極的に登用している。	女性の比率を更に向上	
		35	2	女性消防団員がいる消防団の割合	総務課	100.0%	100%	女性消防団が避難所開設・運営訓練や救命・救護訓練及び普通救命講習等で活躍している。	新女性団員確保を推進	
36		3	町内防災士に占める女性の割合	総務課	15.0%	15%	矢巾町防災士90名のうち女性防災士は14名育成した。	防災に女性の視点を取り入れるため、積極的な参加を助長		
37		4	町防災訓練の参加者に占める女性の割合	総務課	21.0%	40%	町総合防災訓練はコロナ禍の影響から中止したが、その他の防災に係る訓練において、訓練参加人員数75名中、30名の女性が参加した	防災に女性の視点を取り入れるため、積極的な参加を助長	女性の参加はとても大切だと思う。	
		38	1	学校における思春期保健教室の開催回数	学校教育課	8回/年	8回/年	学校保健会の事業として小学5年生、中学校全学年対象に実施。		

【令和3年度指標達成状況】

目 標	施策の方向性	通し 番号	施策別 番号	指 標	担当課	年度目標値 (R3年度)	R3実績値 (R3.12月末時点)	特記事項	次年度方向性	懇話会委員コメント
IV多様性の尊重とあらゆる暴力の根絶	1 多様性を尊重する意識づくり	39	2	性的指向、性自認の尊重を題材とした学習を実施した町立学校数	学校教育課	4/6校	5/6校	思春期保健教室のほか、小学校では、道徳科の「個性の伸長」の内容項目を扱う中で、自分の特徴に気づき長所を伸ばすことに関する学習を各学年に位置付け学習している。		
		40	3	学校における人権教室の開催回数	学校教育課	14回/年	6/6校	人権擁護委員を講師に講話を行ったほか、人権の花植えをとおして「気づき・考え・実行する」態度を育成することを通して、人と人とのつながりを意識することができた。		
		41	4	人権擁護委員による特設相談会の開催回数	福祉課	12回/年	12回/年	毎月第1金曜日		
		42	5	LGBT等、セクシャルマイノリティに関連した言葉と意味を知っている人の割合	文化スポーツ課	53.0%	実績なし	パネル展に合わせてアンケートを実施したが、回答を得ることができなかった。	実施方法の見直し	
	2 暴力等を許さない環境整備と理解促進	43	1	配偶者暴力相談支援センターや警察で相談や保護を行っている人の認知件数	福祉課	10件/年	4件/年			・過程で起きている暴力について認知することは困難なことです。認知できたということはいいことだと思う。続けてほしい。
		44	2	DV予防に関する学習を実施した町立学校数	学校教育課	3/6校	2/6校	学校保健会の事業として中学生対象に「お互いを尊重できる関係の築き方」を実施。		・DV予防に関する学習会を消防署や消防団などでも開催してはどうか。 ・自分だけではないこと、相手を尊重できる関係の築き方を学ぶことはいいことです。続けてほしい。学校だけでなく、基本は家庭教育だと考えますが、家庭での教育は難しい面も多いですね。